

令和8年度

障がい児者・救護施設課程（基礎コースⅡ）

利用者の権利を守るために 職員や組織に大切な視点とは

よりよい利用者支援を目指し、専門性の向上や多面的な視点を習得し
自分自身のステップアップを図る機会とすることを目的に開催します。

日時

11/25 水 10:00～16:30

対象

障がい児者・救護福祉施設に勤務している、
基礎コースⅠを受講された方、
または、5年以下で研修内容に関心のある職員

POINT①

福祉の仕事に誇りを持つ

POINT②

相談支援と地域連携

受講料

5,000円（税込）

定員

40名

プログラムの
詳細は
次頁をチェック！

会場

大阪府社会福祉指導センター4階 研修室1
（大阪府中央区中寺1-1-54）

研修お申込みは

こちら！

申込締切：11/4（水）



大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修グループ

〔電 話〕 06-6762-9035 受付：9：00～17：30（土日祝は除く）

研修プログラム



10：00～12：30 福祉の仕事に誇りを持つ

講師：特定非営利活動法人だんでらいおん 理事長 久保 哲哉 氏

- ・「支援の見方を広げるコツ」—経験から学ぶ支援のヒント—
- ・「これって大丈夫？虐待と人権の話」—身体拘束をどう考えるか—
- ・「事故を防ぐためにできること」—現場でのリスク対策—
- ・「ちょっと使ってみたいICT・AI」—利用者に向き合う時間をつくる工夫—
- ・「しんどくならない働き方」—メンタルヘルスとカスタマーハラスメント対応—



13：30～16：30 相談支援と地域連携

講師：NPO法人サポートグループ ほわほわの会 代表理事 宮崎 充弘 氏

- ・「サービス等利用計画」—人生の地図として—
- ・「本人の意思決定を支える」
- ・「事業所の役割」—利用者の「やりたい」をかなえるチーム—
- ・「専門的視点を持つ」—「やさしさ」を超えて—
- ・「障がい特性の理解と生活の困りごと」
- ・「合理的配慮」 ・「自立のために必要なこと」



講師紹介



特定非営利活動法人 だんでらいおん 理事長 久保 哲哉 氏

大阪府立金剛コロニー（現 こんごう福祉センター）の家族宿舍で育ち、幼少期から障がい児者福祉に触れる。知的障がい者入所施設勤務を経て、2005年、だんでらいおん設立時より入職。共同生活援助、生活介護、居宅介護、相談支援等、重度知的障がい・強度行動障がいの方々の地域生活を支える視点で事業運営に携わる。現在は理事長として、障がい者支援、人材育成、地域福祉活動等に取り組むほか、ICT／AIを活用した福祉現場の質の向上にも力を入れている。



NPO法人サポートグループ ほわほわの会 代表理事 宮崎 充弘 氏

NPO法人サポートグループほわほわの会代表理事、かざみどり相談室主任相談支援専門員。障がいのある方やその家族に対する相談支援をはじめ、事業所支援、人材育成、地域連携などに幅広く携わっている。「しあわせ感の共有」を理念に、本人の意思や強みを尊重した支援と、多職種・多機関によるチームづくりを実践している。研修では、サービス等利用計画、意思決定支援、障がい特性の理解、合理的配慮などを、具体的な事例を交えて解説する。経験を重ねる中で支援への迷いや課題を感じ始める職員が、日々の実践の意味と専門職としての役割を再確認し、今後の支援に意欲と展望を持てる講義を目指している。

「実際に経験された事例をもとにご講義いただき、とても勉強になりました。」

「他の施設の方とも交流ができ、悩みや困りごとを共有することで、自分だけではないのだと気が楽になりました。」

「今回の研修を通して、生活支援員としての初心に返り、利用者支援に臨みたいと思いました。」

過去の
受講者の声